

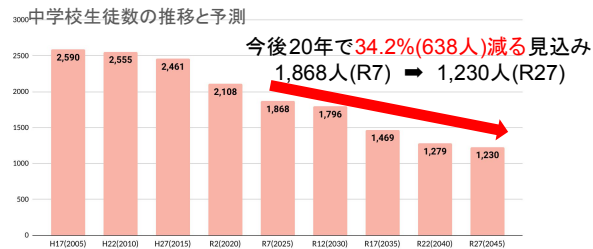
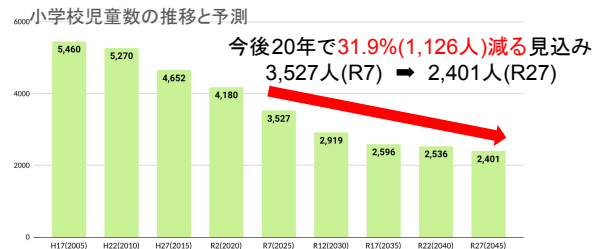
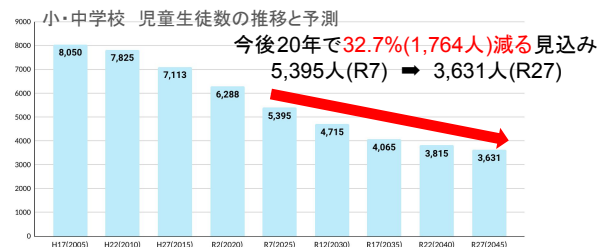
舞鶴市学校規模適正化ビジョン概要版

1. 検討の背景・問題意識

児童・生徒数の減少により小・中学校の小規模化が進行

小規模校には児童生徒一人ひとりに目が行き届き、個々に即した学習や生徒指導等ができるなどのメリットがある一方、児童生徒間の交流相手が限定され、多様な考えに触れる機会が少なくなることや、コミュニケーション能力や社会性を育むという面で学校教育活動に影響を及ぼすことが懸念される。

⇒ 子どもたちを取り巻く環境の変化に対応し、将来に向けて魅力ある学校づくりを進める必要がある



2. 学校規模の適正化に関する市の考え方

(1) より教育効果を上げていくための教育環境のあり方

- 児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合う中で、思考力、判断力、表現力、問題解決能力などを磨いていける環境
- また、学級編制によって新しい人間関係を築く中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、社会性や規範意識について学べる環境

(2) 子どもたちにとってより良い学校教育を実現するために市として取り組むこと

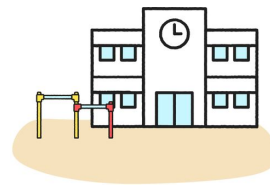
- 児童生徒が一定規模の集団生活の中で活気に満ちた学校生活を送ることができる学校規模の確保
- 経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員の配置

3. 本市が目指す「望ましい教育環境」

小・中学校ともに全学年が2学級以上で、クラス替えが可能な規模

関係者の理解を得ながら学校規模の適正化を推進

【資料1】適正化・適正配置基本方針



- 1) 児童生徒数の減少をはじめ、小規模校における集団の固定化や中学校進学時に大きな集団に合流する子どもたちの心理的負担の現状を踏まえながら、小学校同士、中学校同士の統合を段階的に進めます。
- 2) 複式学級の解消を優先的に進め、1学校について、小・中学校ともに1学年あたり2学級以上で、クラス替えが可能な規模を目指します。
- 3) 学校統合にあたっては、児童生徒の通学路の安全面や通学時間の負担面に配慮するとともに、地理的条件や道路交通事情等を考慮し、安心・安全な通学路の設定や通学手段の方策を講じます。
- 4) 小学校は、「小中一貫教育」の対象区域である、現在の中学校区内での統合を基本とします。ただし、通学時間、学校施設の維持管理面や地域コミュニティ等の事情を総合的に勘案し、保護者や地域住民等関係者の合意が得られる場合は、基本的な対応以外についても検討することとします。
- 5) 児童生徒数の多い学校施設の使用や学校敷地の広さ等の状況を踏まえて、基本的に既存の学校施設及び敷地を可能な限り有効活用します。
- 6) 施設一体型等の小中一貫校の新設や統合後の新たな学校の設置などについても、教育充実の観点、学校施設の維持管理面や地域コミュニティ等の事情を総合的に勘案し検討することとします。
- 7) 適正規模化を進めることが困難な小学校1中学校の校区や、学校統合後においても小規模の小中一貫校では、集団が9年間固定することに留意し、ICTを活用したオンライン授業等、小規模校のデメリットを最小化する取組を検討します。
- 8) 既存学校施設を活用する場合は、老朽化対策(校舎や体育館等の長寿命化改修や屋根・外壁等の大規模改修、電気・水道等の設備改修等)を優先して整備に取り組みます。
- 9) 保護者や地域住民、学校関係者の理解と協力が得られるよう、意見やニーズ等を聴取するため、説明会や意見交換会の開催、また、通学手段の確保等の各種支援策を提案するなど、丁寧な合意形成に努めます。



【資料2】規模別の特徴と各校の位置付け

小学校

R7(2025)年

規模別	学級数	特記事項	学校名
小規模校	1～5	・複式学級が存在する規模 ・学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある	大浦、吉原池内、由良川
	6	・複式学級はないが、クラス替えができない規模	三笠、与保呂朝来、福井高野、岡田
	7～8	・おおむね1つまたは2つの学年しかクラス替えができない規模	中舞鶴
	9～11	・半分以上の学年でクラス替えができる規模	倉梯第二志楽、明倫
標準規模校	12～18	・各学年2～3学級の編制、全学年でクラス替え可能 ・学習活動の特性に応じた集団が編制できる ・同学年に複数の教職員を配置できる	新舞鶴、倉梯余内
	19～24	・各学年の学級数がやや多く、教育課程の編制、実施に際し配慮を要する規模	中筋

R27(2045)年予測

規模別	学級数	特記事項	学校名
小規模校	1～5	・複式学級が存在する規模 ・学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある	朝来、大浦吉原、池内高野、岡田由良川
	6	・複式学級はないが、クラス替えができない規模	三笠、与保呂志楽、中舞鶴福井
	7～8	・おおむね1つまたは2つの学年しかクラス替えができない規模	倉梯第二
	9～11	・半分以上の学年でクラス替えができる規模	明倫
標準規模校	12～18	・各学年2～3学級の編制、全学年でクラス替え可能 ・学習活動の特性に応じた集団が編制できる ・同学年に複数の教職員を配置できる	新舞鶴、倉梯余内、中筋
	19～24	・各学年の学級数がやや多く、教育課程の編制、実施に際し配慮を要する規模	

⇨学級数1～5複式学級が存在する規模の学校が増える

中学校

R7(2025)年

規模別	学級数	特記事項	学校名
小規模校	1～2	・複式学級が存在する規模 ・学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある	
	3	・複式学級はないが、クラス替えができない規模	和田、若浦加佐
	4～5	・クラス替えができる学年が少ない規模	
	6～8	・全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模	
	9～11	・全学年でクラス替えができ、同学年で複数教員配置や免許外指導の解消が可能な規模 ・全ての授業で教科担任による学習指導を行うためには、学校全体で9学級（各学年3学級）以上であることが望ましい	
標準規模校	12～18	・各学年4～6学級の編制、全学年でクラス替えが可能	青葉、白糸城南、城北

R27(2045)年予測

規模別	学級数	特記事項	学校名
小規模校	1～2	・複式学級が存在する規模 ・学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある	
	3	・複式学級はないが、クラス替えができない規模	和田、若浦、加佐
	4～5	・クラス替えができる学年が少ない規模	
	6～8	・全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模	
	9～11	・全学年でクラス替えができ、同学年で複数教員配置や免許外指導の解消が可能な規模 ・全ての授業で教科担任による学習指導を行うためには、学校全体で9学級（各学年3学級）以上であることが望ましい	青葉、白糸城南、城北
標準規模校	12～18	・各学年4～6学級の編制、全学年でクラス替えが可能	

⇨全ての学校が「小規模校」に該当する

【資料3】学校別の児童生徒数の今後の予測

中学校区	学校名	項目	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)	R21 (2039)	R22 (2040)	R23 (2041)	R24 (2042)	R25 (2043)	R26 (2044)	R27 (2045)
青葉	青葉中	生徒数	462	482	464	455	430	429	393	404	387	408	389	361	326	326	324	325	322	318	316	313	312
	三笠小	児童数	123	132	131	125	129	114	110	99	89	85	79	82	83	83	82	81	80	80	79	78	77
	倉梯小	児童数	391	386	372	364	350	328	305	295	292	271	268	259	267	265	264	262	260	258	255	252	248
	倉梯第二小	児童数	216	223	225	226	229	225	234	234	230	226	230	229	224	222	220	219	218	215	213	210	207
	与保呂小	児童数	92	93	88	86	85	81	85	81	83	85	88	90	85	84	83	83	83	82	81	80	79
白糸	白糸中	生徒数	435	457	459	446	406	358	384	385	390	337	325	312	285	280	273	283	281	278	276	274	272
	新舞鶴小	児童数	502	496	474	468	467	470	450	445	442	436	433	425	430	427	425	422	420	416	411	405	398
	志楽小	児童数	249	241	220	199	189	178	172	154	149	144	140	138	141	140	139	138	138	137	135	134	132
和田	和田中	生徒数	88	103	115	125	98	104	94	92	68	70	68	72	69	75	73	70	69	68	68	68	68
	中舞鶴小	児童数	195	190	172	164	160	140	139	141	146	142	147	144	141	140	139	138	138	137	135	134	132
城南	城南中	生徒数	382	440	426	425	409	400	382	364	351	322	311	281	260	252	251	257	255	252	251	249	248
	池内小	児童数	47	42	37	34	36	27	28	29	29	29	28	30	28	28	28	27	27	27	27	26	25
	中筋小	児童数	633	624	612	573	551	525	488	472	460	457	452	444	449	445	442	440	438	434	429	423	417
	高野小	児童数	108	107	102	97	88	80	66	57	50	44	40	41	42	42	41	41	40	40	40	39	39
城北	城北中	生徒数	368	400	390	408	375	380	353	355	333	301	310	281	291	283	292	288	285	283	282	280	278
	明倫小	児童数	268	275	266	245	248	229	230	231	233	242	240	242	239	238	237	236	235	233	230	226	223
	吉原小	児童数	29	27	24	23	22	19	22	20	20	18	19	20	19	19	20	20	19	19	19	19	18
	余内小	児童数	333	328	328	295	314	298	276	271	267	276	266	269	270	268	266	265	264	261	258	254	250
	福井小	児童数	104	100	95	91	82	68	64	65	60	56	57	58	55	54	54	54	54	54	54	53	52
若浦	若浦中	生徒数	84	80	80	71	78	74	69	53	59	47	44	39	40	40	39	40	39	39	38	38	38
	朝来小	児童数	106	102	95	83	66	62	52	47	44	45	44	45	45	44	44	44	44	43	42	42	41
	大浦小	児童数	42	39	38	33	31	36	35	36	35	36	37	35	36	36	36	36	35	35	34	34	34
加佐	加佐中	生徒数	49	55	52	54	55	51	42	31	22	22	22	17	16	14	16	16	15	15	15	15	14
	岡田小	児童数	52	54	46	42	35	23	23	21	20	19	17	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	由良川小	児童数	37	32	27	22	18	16	15	14	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	11	11	11
	小学校計	児童数	3,527	3,491	3,352	3,170	3,100	2,919	2,794	2,712	2,661	2,623	2,596	2,581	2,584	2,565	2,550	2,536	2,523	2,501	2,471	2,438	2,401
	中学校計	生徒数	1,868	2,017	1,986	1,984	1,851	1,796	1,717	1,684	1,610	1,507	1,469	1,363	1,287	1,270	1,268	1,279	1,266	1,253	1,246	1,237	1,230